

創刊120周年

# 幼児の教育

2021  
夏

— since 1901 —

子ども学の源流を次世代につなぐ

第三号

第三〇巻



光キラキラと揺れて  
つかまえようと 伸ばした手

子どもの情景

写真

子どもの情景 1

目次 まと

今、大切にしたいことを思う 2

特集

創刊120周年記念

『幼児の教育』120年。

未来に何をつなぐのか 2

「おもちゃ」って何？

― おもちゃをつくる人たちと

考えてみた 4

《座談会 2021》

丸山素直・宮里曉美・私市和子・  
花牟禮瑠実子・柳奏子・浜口順子

5

《アーカイブズ》

「平和のための教育」津守真

― 『幼児の教育』第87巻第10号

(1988年) から 22

実践

私の保育ノート

心躍る時間―「水」と一緒に― 松田千嘉子

26

保育をつなぐ

― お茶の水女子大学附属幼稚園からの発信 ―

Vol.10

歴史資料から―時を超えてつながる―

吉岡晶子

30

連載

「育ての心」で語りあう

― 動画を囲んだDX時代のカンファレンス ―

Vol.2

「コミュニティーと心地よさ」(七)

溝口義朗・平賀努・中村則仁・  
野村幸子・久保健太

36

視点

承認不安時代の子育て

山竹伸二

42





## 編集後記

この号が手元に届く頃の私へ。東京オリンピックの準備は進んでいますか？ 新型コロナのワクチン接種は効果を生んでいますか。地震や豪雨の被害が、また出てしまっていないでしょうか。

東日本大震災から10年。この間にマンモス級の子期せぬ災害が起る頻度が高くなってきたような気がする。1年ほど前から、新型コロナウイルスと闘うために世界中で生活様式が変化した。南米でもアラブ諸国でも、皆一様にマスクをしている。アニメではない。毎日そんなニュース映像が流れ、世界は一つだということ、世界は小さいということ、人間は皆同じ人類なのだという事を思い知らされる。ユニクロの柳井社長が朝日新聞のインタビューで、

コロナ禍は通常なら10年かかる社会的変化を一気にもたらしたと語っていた。私も今、大学でオンラインの授業をするため、e-ラーニングシステムにふり落とされないように頑張っている。そして、逆に、オンライン授業の良い面にも気づき、対面式授業を当然だと考えてきたこれまでの大学の在り方を相対的に捉えられるようになってきた。

「はかない」という言葉の語源は、計ることのできる目安や物事の進み具合（はか）がないということらしい。生活のペースが大きく変わり、先が見えにくく、「はかなさ」を感じる。だからこそ、今生きている当たり前を見つめ直すこともできる。そんな発想法に恵まれるときなのかもしれない。(HJ)

## 次号予告 幼児の教育 秋号 2021年10月刊行予定

創刊120周年。歴史を生かし「今」の保育をどうするか。

- ◇ 『幼児の教育』120周年。未来に何をつなぐのか 3  
座談会 子どものくらしと行事 — “まつり” に着目して  
加藤 理氏・西野博之氏・松延 毅氏 ほか
- ◇ 伝承文化について すとうあさえ氏（絵本作家）
- ◇ 高等学校家庭科授業風景から 片岡知子氏（都立高校教諭）

※タイトル・内容が変更になる場合もあります。

## 幼児の教育 夏号 第120巻 第3号

令和3年7月1日発行

編集発行人／浜口順子

編集担当／田中恭子

発行所／お茶の水女子大学

『幼児の教育』編集委員会

〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学

浜口順子研究室内

yuji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp

発売所／株式会社フレーベル館

電話：03-5395-6604（編集部）

振替／00190-2-19640

印刷所／図書印刷株式会社

定価／本体880円＋税

◎お茶の水女子大学『幼児の教育』編集委員会

2021 Printed in Japan 無断転載禁止

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

編集委員／上坂元絵里

菊地知子

久保健太

松島のり子

宮里暁美

お茶大3園合同研究会

（附属幼稚園、

いすみナーサリー、

文京区立お茶大こども園）

編集協力／フレーベル館

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613（営業）●